

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2024年 10月 31日

事業所名: マルクスコラ余戸教室

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○			全体で活動する指導訓練室と個別対応を行う相談室を適宜使い分けている。	12	4	0	1	もう少し広さがあれば良いと思います。	指導訓練室を最大限使用できる環境設定を随時行っていく。
	2 職員の適切な配置	○			定員に添った人員配置を行っている。	16	0	0	1		
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	○			掲示物など、より工夫されたものの作成も随時更新している。	14	1	0	2		
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○			空気清浄機・噴射器を設置し、感染症対策を行っている。	16	1	0	0		
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○									
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施		○		今後は公的機関の評価も検討中。						社内での内部監査+αの機会を検討していく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○			教室内で支援力・業務遂行能力を向上させる研修を月数回実施。また、事例検討会も月1回実施。						
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○				17	0	0	0		
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○				17	0	0	0		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
提供 3	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	○				/	/	/	/		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標				
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見			
適切な支援の提供 (続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	○							16	0	0	1	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	○											
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	○			既存プログラムの活用に加えて、月に3件～5件は完全新規プログラムを開発。	16	1	0	0	新規でいろんな活動を企画して下さっていると思います。			
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	○			それぞれの体調変化に合わせて相談室での個別プログラム実施など、柔軟に対応。								
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	○			スタッフ間でのロールプレイや企画書の提出など、生徒さん対応・スタッフの動きの確認を実施。								
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	○											
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	○			当日中にMTを行い、支援記録へ記載を行うことで、支援改善と振り返りを行える状態を設定。								
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	○			個別支援計画期間に添って、モニタリング面談を実施している。また、ご家庭・学校・他放デイなど、各所での姿を照らし合わせ、更新を行っている。								
関係機関	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	○			管理者・児発管を中心に支援における連携体制を構築。								

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
との連携	2	○			事例無し						
関係機関との連携（続き）	3	○			事例無し						
	4	○			生徒さんの通う学校への定期的な訪問や連携会議を実施。						
	5	○			事業所間連携加算の主担当実施など、必要に応じて行っている。						
	6	○			研修の開催予定をスタッフ全員で共有し、希望に応じて参加している。						
	7	○			他放デイとの合同プログラム、児童館でのeスポーツイベント開催など、地域の子どもたちと交流するイベントを定期的に開催している。	6	2	1	8	利用開始すぐのためまだ分からない。	
	8			○	自事業所での開催（地域住民の招待）には至っていない。						保護者様や関係機関を招く機会から発展させていく。
	保護者への説明責任	1	○			利用契約時、定期的な面談時に実施。	15	2	0	0	
2		○			新規計画書作成時に実施。	17	0	0	0		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
連携支援	3		○		保護者様同士が繋がりが合える機会として、研修会の実施や、福祉サービスに関する情報提供。	9	4	0	4	
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	○			定期的な保護者様面談や、緊急の保護者様対応など、臨機応変に対応し、記録媒体を相互共有している。	16	1	0	0	
	5	○			個別支援計画更新時のモニタリングに加え、送迎時でのお話や必要に応じた面談を実施している。	15	1	0	1	
	6		○		過去に一度実施。年間行事として策定していく予定。	4	5	0	8	
	7		○		年間を通して苦情なし。	11	1	0	5	
	8	○				17	0	0	0	
	9	○			通信を毎月作成し、ご家庭へ配布している。	17	0	0	0	
	10	○				16	0	0	1	
非常時等	1	○			契約時の説明に加え、事業所内にマニュアルを掲示。	11	1	0	5	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
母の 対応	2	○			年2回、防災訓練・避難訓練を実施。	12	1	0	4		
非常時等 の対応 (続き)	3	○			社内研修の一環として実施。						
	4	○			やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・理解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載						
	5	○			食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応						
	6	○			ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底						